

2024（令和6）年度 事業計画書

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

1. 全体状況

令和6年度の厚生労働省障害保健福祉部の予算は2兆1,260億円、前年比5.5%が示され、省内全体の伸び率2.2%を上回る傾向が続いている。障害福祉サービス等報酬改定はプラス1.12%の増となっている。最大の課題である福祉人材の確保については、令和6年度2.5%、令和7年度2.0%のベースアップが確実に行われるよう処遇改善の加算率引き上げが行われる見通しである。また、3種類ある処遇改善加算の一本化に向けたルール変更が示されており、当法人においても令和7年度の実施を目途にこの改定に対応していく。地域生活拠点の機能の充実、強度行動障害を有する障害児者への支援体制の強化、相談支援の質の向上や提供体制を整備するための方策の実施、児童発達支援センターの機能強化、生活介護におけるサービス提供時間に応じた基本報酬の見直し、地域移行の意向確認を含めた意思決定支援を推進するための方策など報酬単価の改定のみならず今後の運営に対する指針を含めて多くの内容が盛り込まれており、順次必要な対応を進めていく。

東京都の令和6年度予算額は8兆4,530億円。その中で福祉局予算は1兆1,104億円（前年度比3.8%増）、さらに障害者施策推進費は2,426億円（前年度比8.1%増）という内訳となった。日中活動の場の整備5,100人増（定員）、地域居住の場の整備2,700人増（定員）、短期入所140人増（定員）、障害児への支援の充実として児童発達支援センター等を区市町村に少なくとも1カ所以上設置するなど、令和6年度からの新たな障害者・障害児地域生活支援3か年プランが

示された。

合わせて、地域居住の場における重度対応（グループホーム）1,000人増、日中活動の場における重度対応（生活介護）2,600人増、在宅サービスにおける重度対応（短期入所）1,500人増となる地域基盤整備における重度障害者の利用見込みが示されている。

教育庁においては都立学校教育予算が218億9,500万円で前年度より3,109億円増額となった。特別支援学校への就学が適当と判定された児童・生徒がより身近な区市町村立小中学校に就学した場合、特別支援教室で指導を受けている又は退室した児童・生徒が通常の学校で学ぶ際や、特別支援学級の児童・生徒が交流及び共同学習として通常の教室で学ぶ際に安心して円滑に学習できるよう支援を行う支援員の配置を支援する。また、インクルーシブ教育の更なる推進の実効性を高めるため、重点地区を指定し、公立小・中学校等における特別支援教育の充実を図るなどインクルーシブ教育システム体制の整備等から予算増となっている。指導部予算は1億8,800万円で700万円の減額となった。引き続き、東京都特別支援推進計画（第二期）第二次実施計画に基づき特別支援学校はもとよりすべての学校における特別支援教育の内容充実を図るための研究・開発およびデジタル機器を活用した教育の充実を推進することとしている。

親の会活動においては、新型コロナウイルス感染症への対応が一応の区切りを迎えてきたなかで、あらためて支部活動を推進し、次世代の活動につなげられるよう努力していく。

事業活動では、障害福祉サービス等報酬改定を受け支援の質の向上と持続可能な事業所運営を目指して必要な対応を講じていく。また、策定された事業継続計画（BCP）を活用し、法人全体で自然災害、感染症等への対応について見直しを進めていく。

地域法人協議会は、これまで取り組んでいる研修会や各委員会を更に充実させると共に広報誌等を通して情報発信を積み上げていく。また、専門部会として部会長を中心にサービス毎に情報交換を通じて、共通課題についての対応など利用者の地域生活を支える仕組みを維持できるように加盟団体同士の連携を深める。

本人活動においては、令和7年11月に東京都で開催される育成会全国大会の企画や本人決議の話し合いなどを行うと共に、感染防止に注意を払いながらサークル活動などを実施する。

2. 基本方針

—すべての人が安心して暮らせる21世紀の共生社会を実現する—

(1) 障害のある人一人ひとりの人権と意思を尊重し、主体性を持って生活や活動を

しながら社会・経済・文化ほかあらゆる分野へ参加できるよう支援する。

(権利擁護と社会参加)

(2) 東京都をはじめとした関係行政機関・関係団体等と協力し、東京都における障害者施策を推進するとともに、必要とされる居住の場やサービスを積極的に整備する。

(施策推進と社会資源の整備)

(3) 法人の持てる資源と関係するネットワークを活用し地域社会に貢献する。

(地域貢献)

3. 重点目標

(1) 権利擁護の推進と体制の整備 (親の会、事業体)

(2) 地域貢献を推進する (親の会、事業体)

(3) 各種課題に対する対応 (親の会、事業体)

(4) 人材確保と人材育成 (事業体)

4. 事業運営

(1) 運営事業所 別紙一覧表

(2) 今年度開設等事業所

豊島通勤寮

建替えによる仮移転中 豊島区立旧朝日中学校跡地 (校舎)

令和7年4月新築開設予定

新宿生活実習所

建替えによる仮移転中

新宿区矢来町6番地 (生活介護) 新宿区細工町1丁目3番4階 (短期入所)

令和6年9月新築開設予定

大田区立くすのき園 建て替えによる仮移転開始

大田区蒲田二丁目10番1号 (旧北蒲小学校)

令和6年4月から令和7年度末までの予定

5. 運営体制

(1) 役員等体制 (令和6年4月1日現在)

| | |
|-----|---|
| 役員 | 理事 10名 (理事長1、副理事長3、常務理事1、理事5) 監事 2名 (内 税理士1) |
| 評議員 | 14名 (社会福祉法人経営者、学識経験者、地域親の会会長他) |

| | |
|------|--|
| 役員会等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時評議員会（6月） ・ 理事会（6月、3月その他随時） ・ 三役会（理事長、副理事長、事務局長：原則毎月） |
|------|--|

(2) 内部統制の推進及び会計監査人監査の実施

① 会計処理適正化の推進

| | |
|---------|------------|
| コンサルタント | 辻・本郷 税理士法人 |
|---------|------------|

② 指導検査委員による内部検査の実施

| | |
|--------|---|
| 指導検査委員 | 藤村 剛、山崎弘子、田代崇久、松岡千登勢、寺岡真一、 鵜沼 清、笹島壯史 |
|--------|---|

③ 会計監査人監査の実施

| | |
|-------|----------------|
| 会計監査人 | PwCあらた有限責任監査法人 |
|-------|----------------|

④ 法人組織として求められる内部統制の推進

会計コンサルタント、会計監査人対応・内部統制整備運用アドバイザー等から適宜、教示を受け内部統制、会計処理面における統制推進を進める。

(3) 人材確保

- ① 定期採用試験（ほぼ毎月、開催）
- ② 次年度新規卒業者採用に向けた職場説明会等への参加と関係誌への掲載
- ③ 人材紹介の更なる活用
- ④ 育成会人材バンクの活用
- ⑤ 内定者の交流会・研修会の企画と実施

(4) 人材育成

個々人の総合的な実力向上を目指したキャリアアップ研修、一人の社会人として求められる能力を身に付けるためのビジネススキル研修、知識を深め支援力を向上させるための専門研修、身に付けた知識をチームでの共通した支援に展開する力を身に付けるためのプラスワン研修、そしてコンサルテーションが行える中核的人材を輩出するまでの人材育成プラットフォームを構築し、ロードマップに示した標準的支援がどこの現場でも行われていることを目標として人材育成を行う。

オンライン研修であるスペシャルラーニングに個人ごとに登録し、自ら必要な時に動画を通して学べる機会を継続する。また、法人主催研修など、参加で

きなかった研修でもオンデマンドで学べるようにコンテンツの中に研修動画を蓄積していく。

① 研修の実施

【キャリアアップ研修】

| 研修名 | 対象 | 内容 | 講師 | 日程（予定） |
|---------|----------|-------------------------------|------------------|------------------|
| 新任施設長研修 | 新任施設長 | | | |
| 新任主任研修 | 新任主任 | 理事長講話 | 立原理事長 | 6月7日(金) |
| | | 主任業務について | 有吉次長 | |
| | | 事業計画のPDCAとスーパービジョン前半(グループワーク) | 研修委員 | |
| | | 次長講話 | 佐藤次長 | 令和7年 1月24日(金) |
| | | ミッション、活動規範について考える | 研修委員 | |
| | | 先輩講話 | 施設長・主任 | |
| キャリアⅢ研修 | 法人在職9年以上 | 支援の本質について考えよう | はるにれの里施設長 加藤潔 | 11月8日(金) |
| | | 理事長講話 | 立原理事長 | |

| | | | | |
|-------------|---------------------|-----------------|------------------|----------|
| | | 虐待防止クレドについて考えよう | 研修委員 | |
| | | 問題解決スキル研修 | ウチダ人材開発センター | 未定（11月） |
| キャリアⅡ 研修 | 法人在職 6～8年 目 | セルフリーダーシップ | 日本女子大学教授 久田則夫 | 10月7日（月） |
| | | コンプライアンス研修 | 問山公認会計士事務所 | |
| | | 論理構成力研修 | ウチダ人材開発センター | 未定（10月） |
| キャリアⅠ 研修 | 法人在職 3～5年 目 | 中堅職員の役割 | 清水基金 岡田裕樹 | 9月28日（水） |
| | | 未定 | 研修委員 | |
| | | 対人能力強化研修 | ウチダ人材開発センター | 未定（10月） |
| 2年目研修 | 新任研修 を受講し た翌年 | 虐待防止クレドについて考えよう | 仁田坂事務局長 | 6月29日（木） |
| | | キャリアアップ研修 | 橋本人事主任 | |
| | | 自施設プレゼンと自己見つめ直し | 研修委員 | |
| | | タイムマネジメント研修 | ウチダ人材開発センター | 未定 |

| | | | | |
|------|-------------|------------------|------------------|----------|
| | | 文書コミュニケーション研修 | ウチダ人材開発センター | 未定 |
| | ファシリテーター希望者 | ファシリテーション研修 | 研修委員 | 未定（6月） |
| 新任研修 | 新入職者 | ① 理事長講話 | 立原理事長 | 4月18日（木） |
| | | ② 家族の経験を知ろう | 育成会支部等 | |
| | | ③ マナー研修 | 日本生命 | |
| | | ④ お金の仕組みを知ろう | 日本生命 | |
| | | ⑤ 職場の規則を知ろう | 佐藤次長 | 4月19日（金） |
| | | ⑥ コンプライアンス研修 | 問山公認会計士事務所 | |
| | | ⑦ 人事考課について | 青木施設長 | |
| | | ⑧ ハラスメント防止研修 | 未来市民法律事務所 | |
| | | ⑨ 障害者虐待防止研修 | 未来市民法律事務所 | |
| | | ⑩ 職員支援体制を知ろう | 有吉次長 | |
| | | ⑪ 統一ミッションを知ろう | 研修委員 ファシリテーター | 4月25日（木） |
| | | ⑫ 活動規範と支援の基本を知ろう | 研修委員 ファシリテーター | |
| | | ⑬ 法人を知ろう | 仁田坂事務局長 | |

| | | | | |
|--|--|-------------|--------|--|
| | | ⑭自分の将来を考えよう | 橋本人事主任 | |
| | | ⑮新任研修まとめ | 研修委員 | |

【ビジネススキル研修】

| 研修名 | 対象 | 講師 | 日程（予定） |
|-----------|-----------|-------------|--------|
| 問題解決スキル研修 | 希望者（主任以上） | ウチダ人材開発センター | 11月 |
| 論理構成力強化研修 | 希望者（主任以上） | ウチダ人材開発センター | 10月 |
| 対人能力強化研修 | 希望者（主任以上） | ウチダ人材開発センター | 9月 |

【法人主催研修】

| | | | |
|----------------------------|-----------------|-----------|----------------------|
| 自閉症支援研修 オンライン講座 | 受講希望者 ※法人外含む | 横浜発達クリニック | 9月 |
| 自閉症支援研修 2 days実践ワークショップ | 受講希望者 ※法人外含む | 自閉症eサービス | 9月22日(日) 9月23日(祝) |
| ABAプラスワン | 受講希望者 | 加藤永歳 | 6か月1クール |
| 相談支援研修 | 現職者 受講希望者 | 相談支援部会 | 未定 |
| 実践事例発表会 | 発表希望者 受講希望者 | | 令和7年2月14 (金) |

【中核的人材育成の計画的実施】

| | | | |
|-----------|-------------------------|------------------------|----|
| コンサルテーション | プラスワン経験者が他施設でのコンサルテーション | 加藤永歳 プラスワンファシリテーター他 | 随時 |
|-----------|-------------------------|------------------------|----|

| | | | |
|--------------------|------------------------------|----------------------------|----|
| | ョンを実行する | | |
| ABAプラスワン | 応用行動分析を 学び施設での支 援に反映する | 加藤永歳 プラスワンファ シリテーター他 | |
| 自閉症プラスワン アフターケア | プラスワン実施 施設へのアドバ イス | 宇野洋太医師 プラスワン参加 者 | 随時 |

② 人事考課制度の推進

適宜、人事考課制度およびコンピテンシー基準表の改訂を行い、キャリアアップに見合う評価の定着と人材育成を目指す。令和6年度においては、人材管理ツール「カオナビ」の導入に伴い、人事考課情報も一元管理し可視化することで、より効果的、効率的に人材活用に取り組む。また、人事考課委員がオブザーバーとして、定期的に各事業所の人事考課調整会議に参加することで、人事考課制度の標準化に取り組む。

【人事考課研修】

| 研修名 | 対象 | 内容 | 講師 | 日程（予定） |
|---------------|-------------|-----------------------------------|----------------|--------------|
| 新任職員編 | 新規採用 職員 | 人事考課制度の意義 と仕組み（講義、グル ープワーク） | 阿世賀社会 保険労務士 | 6月11日 |
| | 中途採用 職員 | | | 1月14日 予定 |
| 基礎編 | 被考課者 | 人事考課の原則と基 本（講義、模擬調整会 議） | 阿世賀社会 保険労務士 | 12月10日 予定 |
| 中級編 | 新考課者 考課者 | 人事考課の原則と展 開（講義、調整会議） | 阿世賀社会 保険労務士 | 5月14日 |
| 特別開催 施設長向け | 施設長 | 公正な人事考課と事 例検討（講義、調整会 議） | 阿世賀社会 保険労務士 | 7月開催予定 |

（5）職員のサポート体制

- ① 無料相談窓口メンタルサポートネット（東京メンタルヘルス株式会社）

② 職員の悩みごと相談窓口 (担当：青木祐介、木村文枝)

③ メンタルヘルス指定相談医の委嘱

| | |
|----------------|--------------|
| 株式会社 HL&E 精神科医 | (相談窓口) 法人事務局 |
|----------------|--------------|

④ 職員のストレスチェック実施体制

| | |
|--------|-----------|
| 実施委託機関 | 株式会社 HL&E |
|--------|-----------|

(6) 労務管理体制の整備

| | |
|---------|----------------|
| コンサルタント | 社会保険労務士 阿世賀事務所 |
|---------|----------------|

(7) 事業支援体制

① 事業支援委員の活用

| |
|----------------------------|
| 渡邊健治、河津英彦、滝沢しげ子、山本多賀子、原 智彦 |
|----------------------------|

(8) 危機管理体制

① 顧問弁護士

| | |
|-----------|------------|
| 未来市民法律事務所 | 中村裕二、早川美恵子 |
|-----------|------------|

② 施設、事業所ごとに施設賠償責任保険等に参加

③ 役員、評議員、施設長等に対する損害賠償請求リスクに対応できるマネジメントリスクプロテクション保険に参加

④ 内部通報窓口 (公益通報)

| | |
|---------|--|
| 内部窓口 | |
| 1. 有吉孝之 | 事業支援部門次長 |
| メール連絡先 | ariyoshi@ikuseikai-kyo.or.jp |
| 2. 青木祐介 | 職員悩みごと相談窓口担当 |
| メール連絡先 | yu_aoki@ikuseikai-kyo.or.jp |
| 電話 | 03-5389-2600 |
| FAX | 03-5389-4090 |
| 郵送先 | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-8-10 オークラヤビル2階 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会内部通報担当宛 |

| | |
|---------|------------------------|
| 外部窓口 | |
| 1. 上松信雄 | 弁護士 |
| メール連絡先 | n.uematsu@bancholaw.jp |

| | |
|----------|--|
| 2. 河本みま乃 | 弁護士 |
| メール連絡先 | m.kawamoto@bancholaw.jp |
| FAX | 03-3288-9695 |
| 郵送先 | 〒102-0076 東京都千代田区五番町5-5 ヒューリック五番町ビル5階 番町総合法律事務所 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会内部通報担当宛 |

(9) 権利擁護、苦情解決体制（令和6年4月1日現在）

① 委員会等

| | |
|----|---|
| 法人 | 苦情解決第三者委員会、虐待防止委員会、身体拘束等適正化委員会 職員の悩みごと相談・苦情受付窓口（青木祐介、木村文枝） |
|----|---|

| | |
|-----|---|
| 事業所 | 苦情解決第三者委員、虐待防止委員会、身体拘束等適正化委員会等 苦情受付窓口（事業所ごとに担当者設置） |
|-----|---|

② 法人苦情解決第三者委員

| |
|----------------------|
| 渡邊健治、河津英彦、山本多賀子、関哉直人 |
|----------------------|

③ 法人虐待防止委員会（年2回程度開催）

| | | | |
|-----|-------------|----|------------------|
| 委員長 | 仁田坂和夫(事務局長) | 委員 | 緑川 眞 (理事) |
| 委員 | 立原麻里子(理事長) | 委員 | 山本多賀子 (社会福祉士) |
| 委員 | 永田直子(副理事長) | 委員 | 青木祐介(虐待防止マネージャー) |
| 委員 | 森山瑞江(副理事長) | 委員 | 関哉直人(弁護士) |
| 委員 | 佐藤宏樹 (理事) | | |

※身体拘束等適正化委員会についても同時開催

④ 預り金等支援推進会議

| | | | |
|-----|--------------------|----|-------------|
| 委員長 | 中野敏子(権利擁護支援センター所長) | 委員 | 入所施設検討委員会委員 |
| 委員 | 地域生活支援検討員会委員 | | |

⑤ 預り金等支援改善委員会

| | | | |
|-----|--------------------|----|---------------|
| 委員長 | 中野敏子(権利擁護支援センター所長) | 委員 | 権利擁護委員会拡大会議委員 |
|-----|--------------------|----|---------------|

(10) 会議(随時、必要な研修も会議中に実施)

| | |
|-------------------|--------------------------------|
| 施設長会議 | 8月を除く毎月 |
| 主任係長会議 | 5月、7月または8月、10月、3月を除く毎月(WE B方式) |
| 事務担当者会議 事務担当者主任会議 | 必要に応じ随時開催 |
| 看護師連絡会 | 年3回程度を開催予定 |

(11) 課題解決プロジェクトおよび委員会

| | |
|----------------|-----------------------------|
| 地域生活支援検討委員会 | 年4回程度 日常的金銭管理含 |
| 入所施設検討委員会 | 年4回程度 日常的金銭管理含 |
| 処遇改善検討委員会 | 必要に応じ随時開催 |
| 賃金規程検討委員会 | 必要に応じ随時開催 |
| 均衡待遇検討委員会 | 必要に応じ随時開催 |
| 就業規則検討委員会 | 必要に応じ随時開催 |
| I Tデジタル活用推進P J | 年4回程度 |
| 全育連 全国大会実行委員会 | 必要に応じ随時開催 |
| 相談支援対応P J | 令和6年6月以降、相談支援部会へ課題を移行しP J終了 |

喫緊の課題や重点目標に対応するためのプロジェクト

(12) 事業継続計画(BCP)の推進

| | |
|---------|-------|
| 危機管理委員会 | 年2回程度 |
|---------|-------|

法人全体でのBCP策定の推進役として新たに設置

(13) 中長期計画の推進

| | |
|---------|-------------|
| ワークショップ | 令和6年12月開催予定 |
|---------|-------------|

役員、評議員、施設長等による法人統一ミッションに向かうロードマップの策定と到達点の確認

6. 東京都手をつなぐ親の会活動

(1) 役員体制（令和6年4月1日現在）

| | |
|------|--|
| 会長 | 立原麻里子 |
| 副会長 | 永田直子、森山瑞江、渡邊理津子 |
| 部会長 | 三好由加（施策）、宮澤百合子（本人活動支援）、山根聖子（研修）、久松順子（教育） |
| 企画委員 | 堀口智子、小矢野和子、伊東とも子、櫻井美恵子、加藤智子、小杉裕子、川村智美、佐藤奈緒、畑佐枝子、阿部由美、小野田由夏、形岡拓文、岩男加代、齋藤恵美子、遠藤知子、榮幸世、徳山香織、熊澤砂智、藍さとみ |

(2) 支部との連携

① 支部長会（法人事務局会議室）（WEB方式）

| |
|---------------------------------|
| 4月17日、5月9日、9月5日、12月3日、2月4日、3月4日 |
|---------------------------------|

② 支部ブロック会

| | |
|-----------------------------------|--|
| 各ブロックによる企画で開催 | |
| 法人事務局及びWEB方式による開催（11月1日、5日、6日、7日） | |

③ 大会等

| | |
|-------|---------------------------|
| 6月17日 | 東京都対話集会：教育庁・産業労働局（BIZ新宿） |
| 6月18日 | 東京都対話集会：福祉局等（BIZ新宿） |
| 7月12日 | 東京都育成会大会（なかのZERO大ホール） |
| 10月4日 | 大研修会（国立オリンピック記念青少年総合センター） |
| 1月18日 | 東京都育成会新年会（京王プラザホテル） |

(3) 部会活動

① 教育部会

子供たち主体の特別支援教育の充実のために東京都や国に必要な施策整備や推進を提言するとともに、東京都知的障害教育四者懇談会の参加等、関係機関との連携を進める。

また、年3回程度、企画委員が中心となり、地域のネットワークづくりや情報交換を行う部会と、年1回、保護者の関心の高いテーマの学習会を行う。

② 施策部会

東京都や国の施策の問題を考え、東京都及び都議会、東京労働局（国）へ予算

要望する。全国手をつなぐ育成会連合会とも連携し、国の法整備等に関する提言に意見を具申する。

③ 研修部会

障害児者の権利擁護に関わる問題や福祉施策に関して都大会・大研修会を中心に研修を企画・実施する。

④ 本人活動支援部会

ゆうあい会や本人交流会などの本人活動の活性化に向けて、親の会としての支援の窓口の役割を担う。

(4) 法人機関誌「TOKYO手をつなぐ」

年6回 奇数月各4, 400部 発行

| | |
|-------|--|
| 編集委員長 | 大塚 晃 |
| 編集委員 | 半澤嘉博、杉野学、神立佳明、小野寺肇、立原麻里子、渡邊理津子、伊東とも子、久松順子、川村智美、仁田坂和夫、牧野隆行、西村周治、沢瀬大介、沼倉浩之、寺澤宣通、田邊裕子、柴山健一、鈴木幸雄 |
| 事務局 | 佐藤宏樹、清水里美 |
| 編集会議 | 4月15日、6月17日、8月19日、10月21日、12月16日、2月17日 |

(5) 全国手をつなぐ育成会連合会との連携

① 大会等

| | |
|------------|-------------------|
| 10月12日～13日 | 全国大会(秋田県) |
| 9月28日 | 関東甲信越ブロック大会(新潟県) |
| 11月9日 | 全国事業所協議会研修大会(北海道) |

② 役員・委員派遣など

| |
|---------------------------------|
| 運営委員長(国際委員会)、運営委員長(事業所協議会)、編集委員 |
|---------------------------------|

③ 国際委員会の開催

| |
|---------------------------------------|
| 4月16日、6月18日、8月20日、10月15日、12月17日、2月18日 |
|---------------------------------------|

④ 関係団体への推薦など

| | |
|----|--------------------------|
| 理事 | 日本発達障害連盟、全国特別支援教育推進連盟 |
| 委員 | 日本発達障害連盟アジア知的障害会議参加企画委員会 |

- ⑤ 機関紙「手をつなぐ」の普及推進
- ⑥ 全国心身障害者福祉財団助成事業実施支援
- ⑦ 都内開催会議等への支援

(6) 福祉・障害教育関係団体との連携

① 委員会等への人材派遣・推薦

| | |
|-----|---|
| 役員等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本発達障害連盟 ・ 全国特別支援教育推進連盟 ・ 東京都障害者スポーツ協会 ・ 東京都社会福祉協議会知的発達障害部会 ・ NHK厚生文化事業団 |
| 評議員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都社会福祉協議会 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都障害者団体連絡協議会 ・ 東京都障害者社会参加推進協議会 ・ 東京都障害者施策推進協議会 ・ 東京都福祉のまちづくり推進協議会 ・ 東京都発達障害者支援地域協議会 ・ 東京都障害者差別解消支援地域協議会 ・ 東京都特別支援教育就学支援委員会 ・ 東京都特別支援教育就学支援推進委員会 ・ 東京都特別支援教育担当指導主事等連絡協議会 ・ 東京都障害者介護給付費等不服審査会 ・ 東京都労働局雇用移行推進連絡会 ・ 東京都自立支援協議会 ・ 東京都障害者スポーツセンター運営懇談会 ・ 東京都多摩障害者スポーツセンター運営懇談会 ・ 東京都社会福祉大会東社協会長表彰・感謝選考委員会 ・ 東京都社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会委員候補者選考委員 ・ 東京都社会福祉協議会地域福祉推進委員 ・ 権利擁護センターぱあとなあ東京業務監査 ・ 公益信託西村良枝記念知的障害者福祉基金運営委員会 ・ 関東運輸局東京運輸支局バリアフリーネットワーク会議 |

| | |
|-----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・東京都障害者技能競技大会運営委員 ・日本発達障害連盟アジア知的障害会議参加企画委員会 ・成田空港のユニバーサルデザインに関する基本計画を策定するための委員会及び分科会 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・JDF東京（立原麻里子、小原誠太郎） |

② 東京都障害者福祉会館の相談事業への協力

| |
|-----------------|
| (相談員) 大上好江、堀口智子 |
|-----------------|

③ その他

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・全日本特別支援教育研究連盟 ・全国特別支援学級・通級指導教室設置校長協会 ・全国特別支援学校知的障害教育校長会 ・全国特別支援学校長会 ・東京都特別支援学級・通級指導教室設置校長協会 ・東京都特別支援教育研究会 ・東京都特別支援学校長会 ・東京都発達障害支援協会 ・障害者各団体、日本チャリティ協会、教職員組合等々 |
|--|

7. 地域法人協議会活動

(1) 活動体制

① 運営委員会等

運営委員会の下に幹事会、研修委員会、専門部会及び編集委員会等を置く。

② 幹事会は地域法人協議会を統括する。

幹事会は、運営委員長、副運営委員長、参与等で構成される。

③ 研修委員会は地域法人協議会に関わる研修を担当する。

④ 専門部会は各障害福祉サービス事業の課題を整理・検討する。

居住支援部会、相談支援部会、生活介護部会、就労支援部会、自主製品部会、芸術・文化部会等

⑤ 編集委員会は地域法人協議会ニュース等の編集・発行を担当する。

⑥ 各委員会・部会には委員長・副委員長を置き、幹事会との調整を行う。

⑦ 2025大会実行委員会

2025年度に開催する全国大会東京大会に向け、実行委員を中心に準備を進める。

(2) 会議等

- ① 代表者会議 年1回以上開催
- ② 委員会等 随時開催
運営委員会、幹事会、研修委員会、編集委員会、専門部会、
2025東京大会実行委員会等

(3) 会員研修

下記研修会を開催する。

- ① 研修会を年2回、概ね4月、7月に実施
- ② 障害福祉サービス事業実践発表会の実施
- ③ グループワーク研修の実施
- ④ 東京都育成会・事業所が開催する各職員研修等へ参加
- ⑤ その他、協議会主催の研修会を随時開催

- (4) 全国手をつなぐ育成会事業所協議会の諸会議、研修会等への協力及び参加
・令和6年度事業所協議会研修大会（北海道）

8. 本人活動

(1) 本人活動の活性化

- ① 機関誌どりーむ通信の発行による本人活動の紹介
- ② ゆうあい会活動やどりーむ通信編集委員等、本人活動参加の推進
- ③ 各支部や各事業所の本人活動の立ち上げやネットワークづくりをサポート
- ④ 事業所連携による支援体制の整備

(2) ゆうあい会活動

- ① 活性化に向けた取り組み

| | |
|--------|---|
| 目的の明確化 | 活動の基本となる「ゆうあい会のきまり」を適宜見直し、目的と活動内容を会員間で話し合い確認をする。 令和5年度、本人の声を地域に届ける役割を明確にした。その点を踏まえて活動を活性化していく。 |
| 運営の適正化 | 活動を適正に提供するために、総会等で会員に情報提供し、会員への報告と確認は適宜行う。また、関係者からの意見等を積極的に受入れ、社会情勢を踏まえ、社会通念に則り、常に運営の在り方を検証していく。 |

| | |
|---------|---|
| 仲間づくり | より多くの人の声を地域に届けることを目指し、仲間づくりを進める。ホームページ等により、会の魅力を発信し、会員増につなげる。 |
| ホームページ | 会員や支援者、また活動に興味のある方への情報発信として、リニューアルされたホームページを活用していく。 |
| 賛助会員の獲得 | 積極的な発信をし、会の趣旨を理解してもらい、多くの方に賛助会員になってもらう。 |

② 行事の企画と実施

魅力ある行事にするため、会員からの要望を積極的に取り入れ、会員間の交流をより深める場とする。令和6年度は、コロナ禍以前の活動の再開を計画し、実施を目指す。

| | | |
|-------|--------|-------|
| 総 会 | 6月16日 | 育成会本部 |
| バスハイク | 9月 8日 | 行先未定 |
| 交流会 | 11月17日 | 育成会本部 |
| 新年会 | 1月26日 | 会場未定 |
| 見学会 | 3月16日 | 育成会本部 |

③ サークルと料理教室（予定）

| | |
|------|---------------------------------|
| サークル | グルメ、カラオケ、ボウリング、レクリエーション 適宜実施 |
| 料理教室 | 年4回実施 |

* 6月に開催予定の令和6年度ゆうあい会総会により、活動内容を決定。

* 活動内容の変更については、役員会で協議し、決定する。変更内容は文書にて会員全員に周知していく。

④ 各種委員会・協議会への参加

| | |
|-------------------|-----------|
| 東京都施策推進協議会 | 専門委員として出席 |
| 東京都障害者差別解消支援地域協議会 | 専門委員として出席 |

| | |
|----------------|---------|
| 東京都障害者ピアサポート研修 | 講師として出席 |
|----------------|---------|

(3) 2025年全国育成会連合会全国大会（東京大会）に向けた準備

2025年全国育成会連合会全国大会（東京大会）の本人大会に向けて実行委員会を組織し、各本人活動団体と連携を図りながら準備を進めていく。

9. 東京都育成会権利擁護支援センター

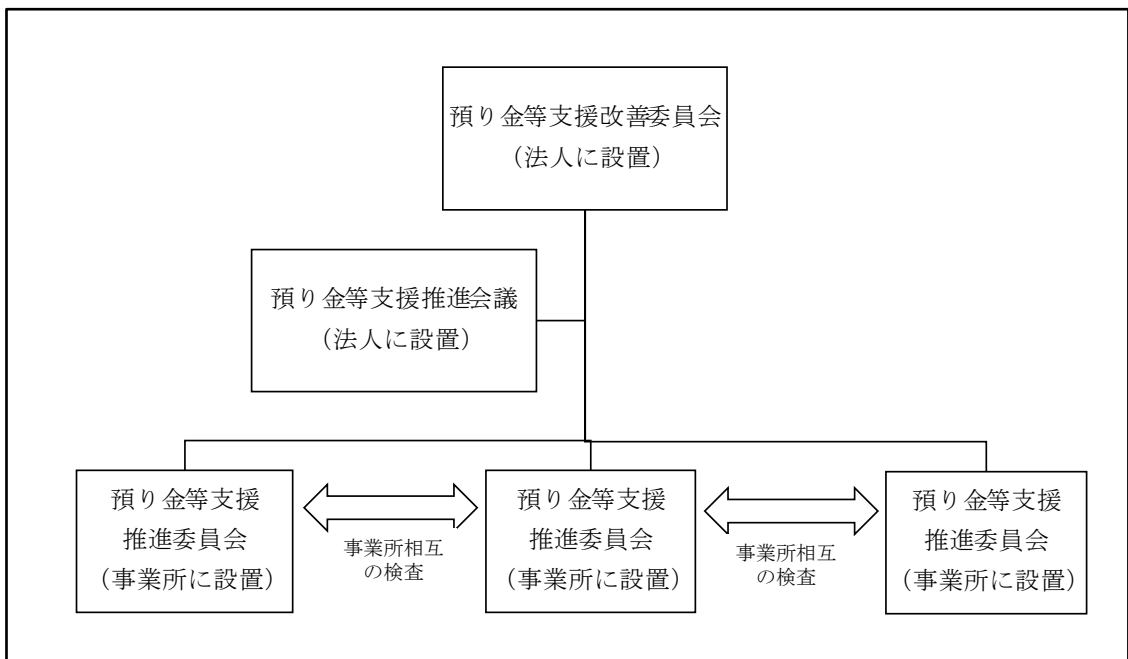
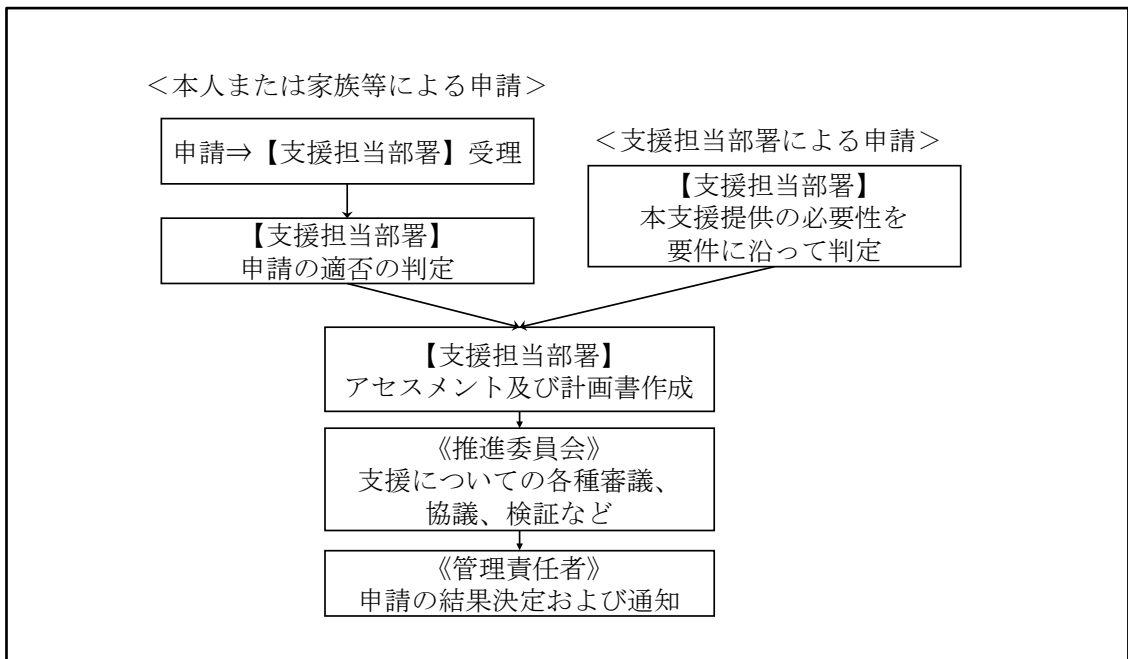
(1) 実施体制

| | | |
|----------|--|---------------------------------|
| 運営 委員 | 所 長 | 中野敏子 |
| | 委 員 | 佐藤彰一、立原麻里子、仁田坂和夫、佐々木桃子、 齊藤一紀 |
| | 支 援 員 | 田邊裕子（主任）、塩谷菜美 |
| 専門 委員 | 上原裕之、上山浩司、遠藤英嗣、大輪典子、佐藤彰一（運営委員と兼務）、 信太 貢、関哉直人、田中正博、田邊仁重、西村周治、 橋本大彦、平澤千鶴子、山中將利、湯汲英史、渡邊一郎 | |
| 会議 | 運営会議 | 4月、6月、10月、12月、2月の第三木曜日 |
| | 拡大運営会議 | 2月20日 |

(2) 預り金等支援の推進・検証

利用者の市民としての豊かな日常生活および社会生活を実現するために権利擁護の視点から提供する預り金等支援について、実際に預り金等支援を行う事業所と連携して情報提供や助言を行うとともに、預り金等支援の実践についての検証を行い、適切な預り金等支援を推進する。

○ 預り金等支援の主な申請手順



(3) 手をつなぐ あんしん相談 (旧 青年期相談事業)

毎週 月～木曜日 10時～17時 (祝祭日、年末年始などを除く)

10. 障害者スポーツ

(1) フットサル大会インクルージョンカップの開催

以下のスケジュールで年3回実施

- ① 令和6年5月18日（土）10：00～16：00
- ② 令和6年9月21日（土）10：00～16：00
- ③ 令和7年2月 1日（土）10：00～16：00

場所：府中スポーツガーデン

(2) 関係団体スポーツ大会への参加と協力

- ① 東京都障害者スポーツ大会
5月12日 合同開会式（東京体育館メインアリーナ）
5月25日、26日 陸上競技（駒沢オリンピック公園総合運動場）他
- ② スポーツの集い 10月2日（東京体育館メインアリーナ）
- ③ 全国障害者スポーツ大会 10月26日～28日（佐賀県）